

## SCP を用いたファイル転送

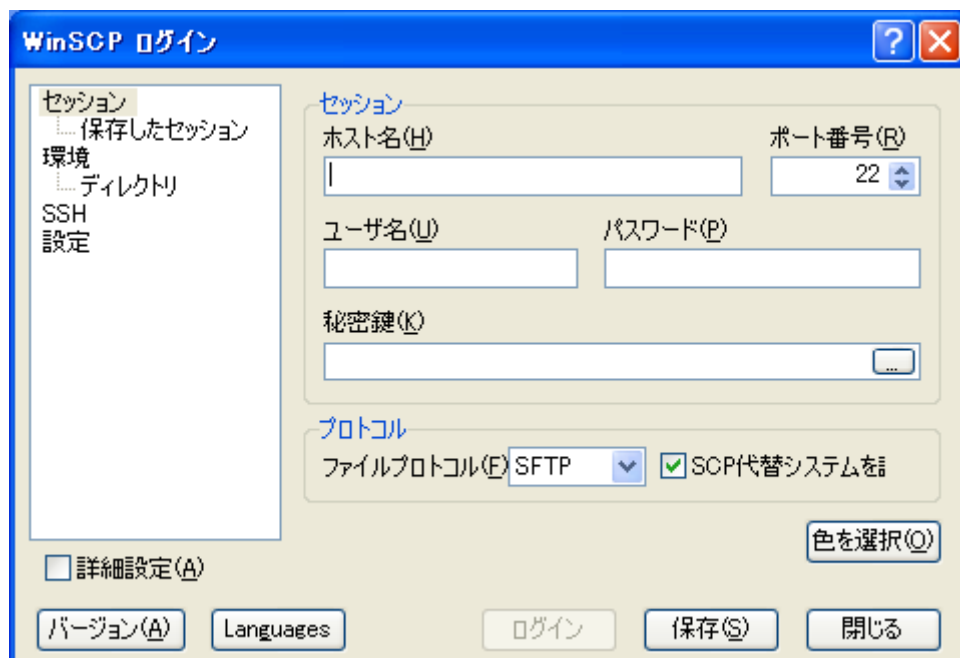
-- WinSCPを使った例 --

従来、ファイル転送には、多くの場合 FTP(File Transfer Protocol)を用いていました。しかし、FTP には通信を暗号化する機能が無いため、パスワードや、交換するデータの安全性を確保することができません。

近年、SSH(Secure Shell)と呼ばれるソフトウェアが開発されました。SSH では通信データを暗号化するため、遠隔接続(ログイン)や、遠隔地からのファイル交換を安全に行なう事が可能です。例えば WinSCP は、内部に SSH の機能を備えており、マウス操作でファイル交換を行なう事ができます。このソフトウェアは Windows 版ですが、以下 URL からダウンロードできます。

<http://www.forest.impress.co.jp/library/software/winscp/>

WinSCP を起動すると次のような画面が表示されます。

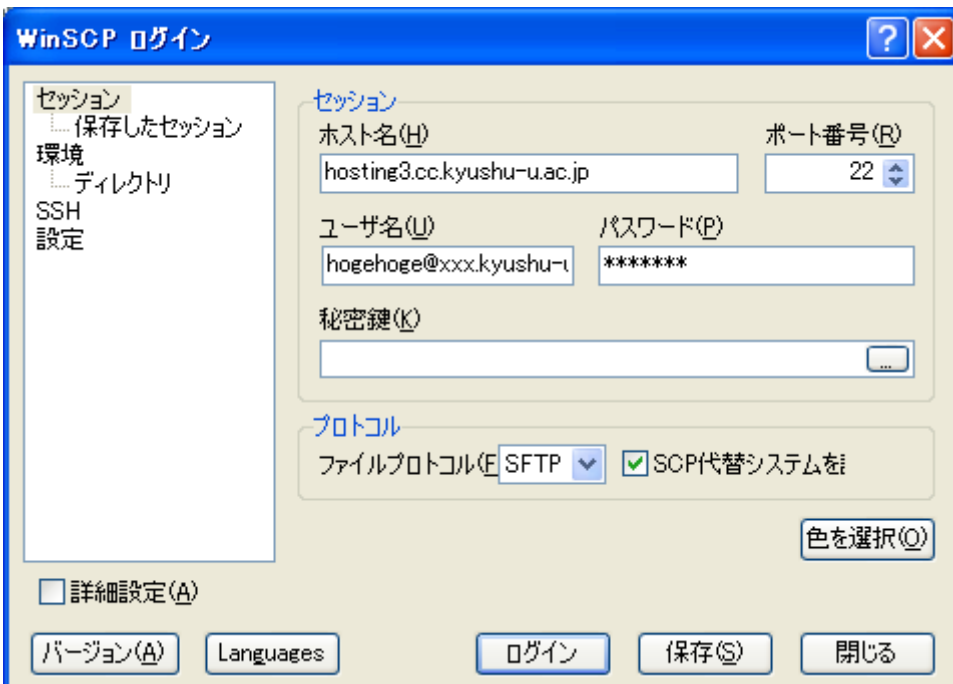


ここでそれぞれの項目について次のように設定します。

ホスト名：例のように「hosting3.cc.kyushu-u.ac.jp」と指定します。hosting3は、ホスティング利用開始日が平成21年12月1日～平成24年6月30日の期間であればhosting2となります。部局等のホスティング利用管理者にお問い合わせください。

ユーザ名：管理者用(admin@ドメイン名)か、あるいは自分のユーザ名(ユーザ名@ドメイン名)を入力します。

パスワード：ユーザ名に対応するパスワードを入力します。



WinSCP ログイン

セッション

- 保存したセッション
- 環境
- ディレクトリ
- SSH設定

セッション

ホスト名(H)      ポート番号(P)

hosting3.cc.kyushu-u.ac.jp      22

ユーザ名(U)      パスワード(P)

hoge hoge@xxx.kyushu-u      \*\*\*\*\*

秘密鍵(K)

プロトコル

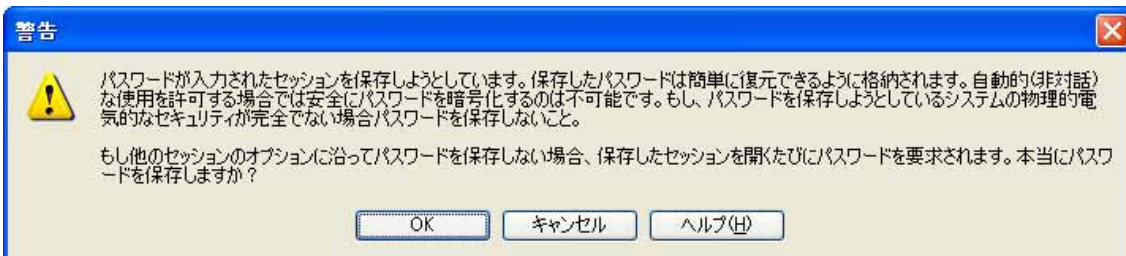
ファイルプロトコル(E) SFTP       SOP代替システムを

色を選択(O)

詳細設定(A)

バージョン(A)      Languages      ログイン      保存(S)      閉じる

[保存]をクリックすると、次のようなメッセージが表示されますので[OK]します。



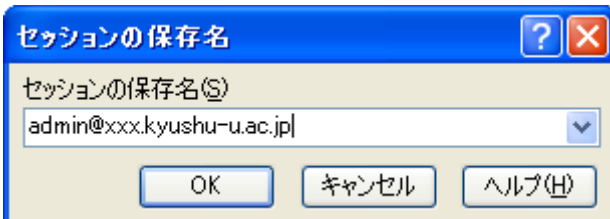
警告

パスワードが入力されたセッションを保存しようとしています。保存したパスワードは簡単に復元できるように格納されます。自動的(非対話)な使用を許可する場合は安全にパスワードを暗号化するのは不可能です。もし、パスワードを保存しようとしているシステムの物理的電氣的なセキュリティが完全でない場合パスワードを保存しないこと。

もし他のセッションのオプションに沿ってパスワードを保存しない場合、保存したセッションを開くたびにパスワードを要求されます。本当にパスワードを保存しますか？

OK      キャンセル      ヘルプ(H)

セッションの保存名の問い合わせがありますのでわかりやすい名称を入力して[OK]します。



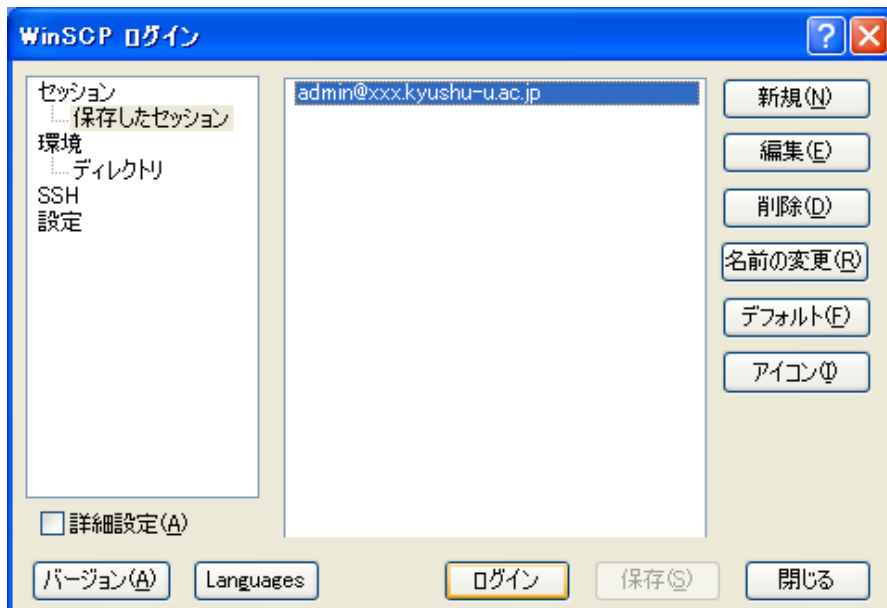
セッションの保存名

セッションの保存名(S)

admin@xxx.kyushu-u.ac.jp

OK      キャンセル      ヘルプ(H)

[ログイン]をクリックするとサーバに接続が行われ、次のような場面になります。



右側にサーバ上のフォルダやファイルが表示され、左側にクライアント PC 上のフォルダやファイルが表示されます。右側の htdocs がサーバ上のドキュメントルートになっています。ファイル転送の簡単な使い方としては、対象ファイルをマウスでドラッグしてつかんだまま相手側で放すことで転送されます。終了は F10 キーを押します。

